

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

横浜みどりアップ計画5か年の評価・提案

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2023 年度報告書

案

【抜粋】

横浜みどりアップ計画市民推進会議

2024 年 ○月

目次

1	はじめに	1
2	横浜みどリアップ計画と市民推進会議	2
	(1) 横浜みどリアップ計画	
	(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議	
3	市民推進会議の活動実績	5
	(1) 活動の概要	
	(2) 活動の詳細内容	
	①市民推進会議（全体会議）	
	②施策別専門部会	
	③広報・見える化部会	
	④調査部会（現地調査）	
4	横浜みどリアップ計画 5か年の評価・提案	15
	◆計画の体系	
	◆各計画の柱のハイライト	
	◆評価・提案の概要	
	(1) 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	20
	施策1 樹林地の確実な保全の推進	
	施策2 良好な森を育成する取組の推進	
	施策3 森と市民とをつなげる取組の推進	
	(2) 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	28
	施策1 農に親しむ取組の推進	
	施策2 地産地消の推進	
	(3) 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	38
	施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進	
	施策2 緑や花に親しむ取組の推進	
	(4) 効果的な広報の展開	46
	市民の理解を広げる広報の展開	
5	市民推進会議委員名簿	52
6	市民推進会議委員からのコメント	55
7	市民推進会議広報誌「Yokohama みどリアップ Action」、 「森づくり体験会」の案内チラシ	56

4 横浜みどりアップ計画 5か年の評価・提案

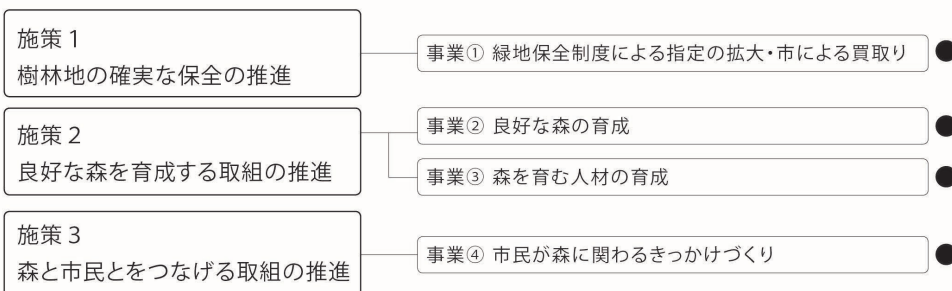
市民推進会議では、横浜みどりアップ計画の「市民とともに次世代につなぐ森を育む(「森を育む」)」、「市民が身近に農を感じる場をつくる(「農を感じる」)」、「市民が実感できる緑や花をつくる(「緑をつくる」)」の施策と、横浜みどりアップ計画を市民の皆さまに周知するための「広報・PR」について、現地調査で活動団体などからいただいた意見も踏まえて、評価・提案を行いました。

なお、横浜みどりアップ計画で進めている事業・取組には、横浜みどり税の導入時に定めた用途に沿って横浜みどり税を充当している事業・取組と、横浜みどり税を充当せずに進めている事業・取組がありますが、市民推進会議では市民の皆さまが負担している横浜みどり税を充当している事業・取組を中心に評価・提案を行いました。

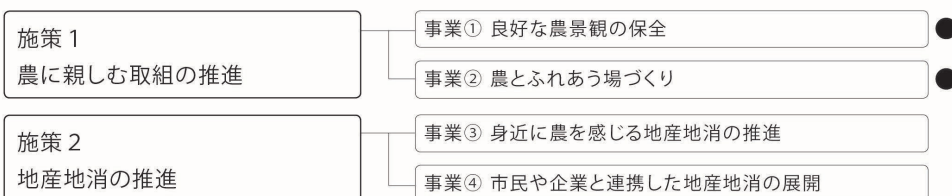
◆計画の体系

●：横浜みどり税を充当している事業・取組

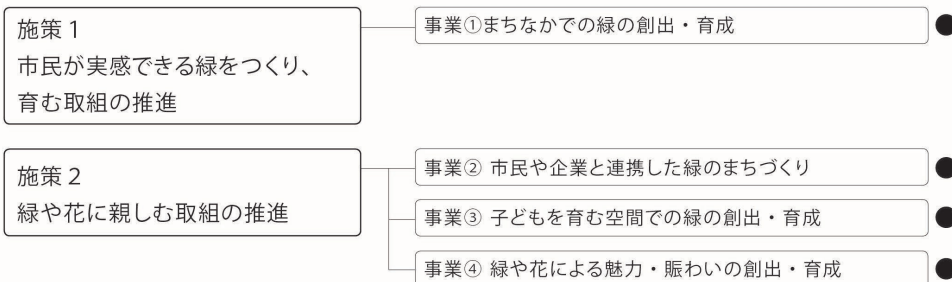
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



効果的な広報の展開



事業① 市民の理解を広げる広報の展開

◆各計画の柱のハイライト

2023年度の実施状況について、これまでの実施状況とあわせて振り返ります。

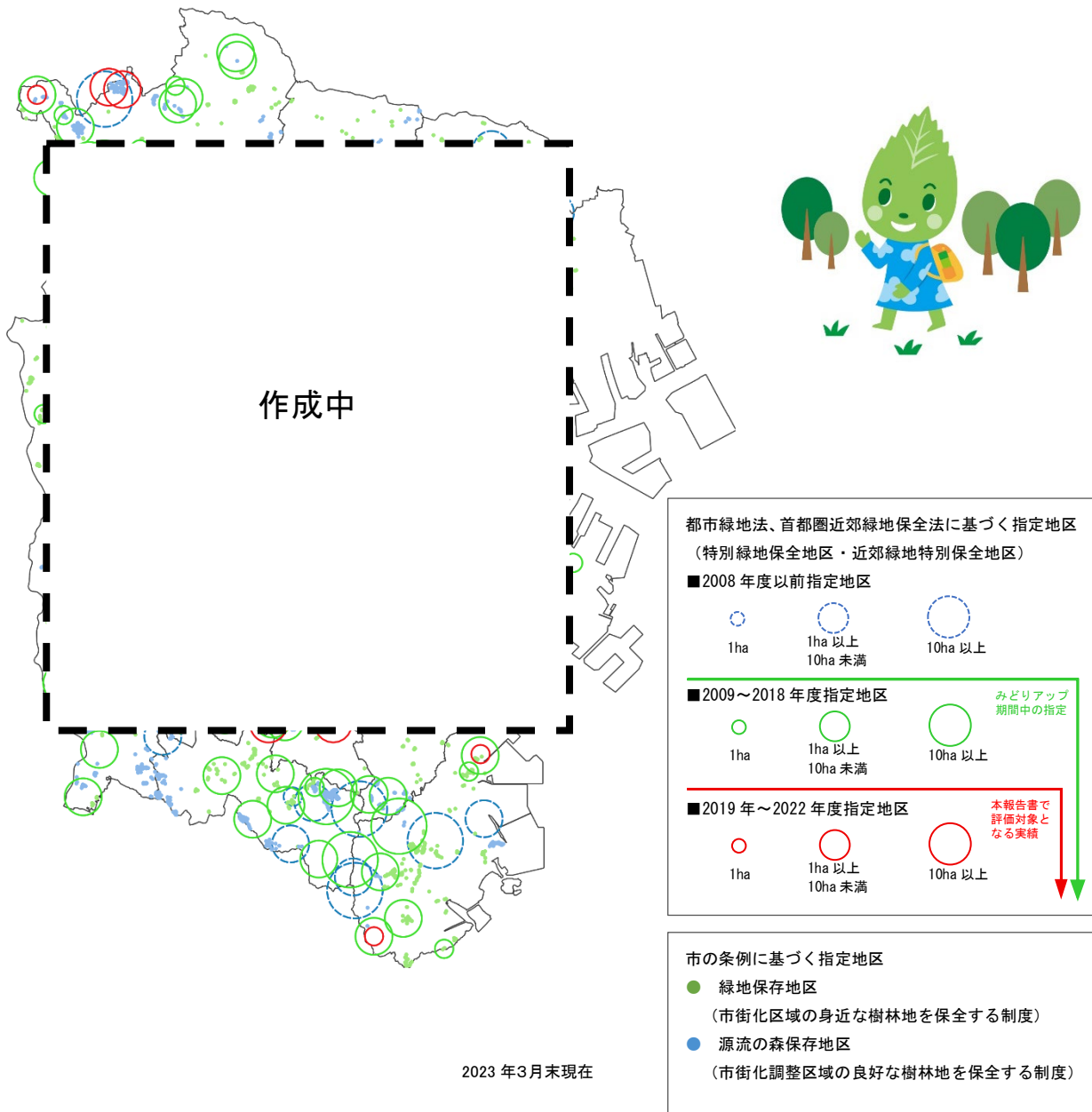


計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

緑地保全制度による指定の拡大が進んでいます

特別緑地保全地区などの緑地保全制度による指定は、緑のネットワークの核となるまとまりのある樹林地を中心に土地所有者へ働きかけを行い、2009年度から2023年度の15年間で約〇〇ha、2023年度は〇〇ha指定されました。

<緑地保全制度による指定の状況>





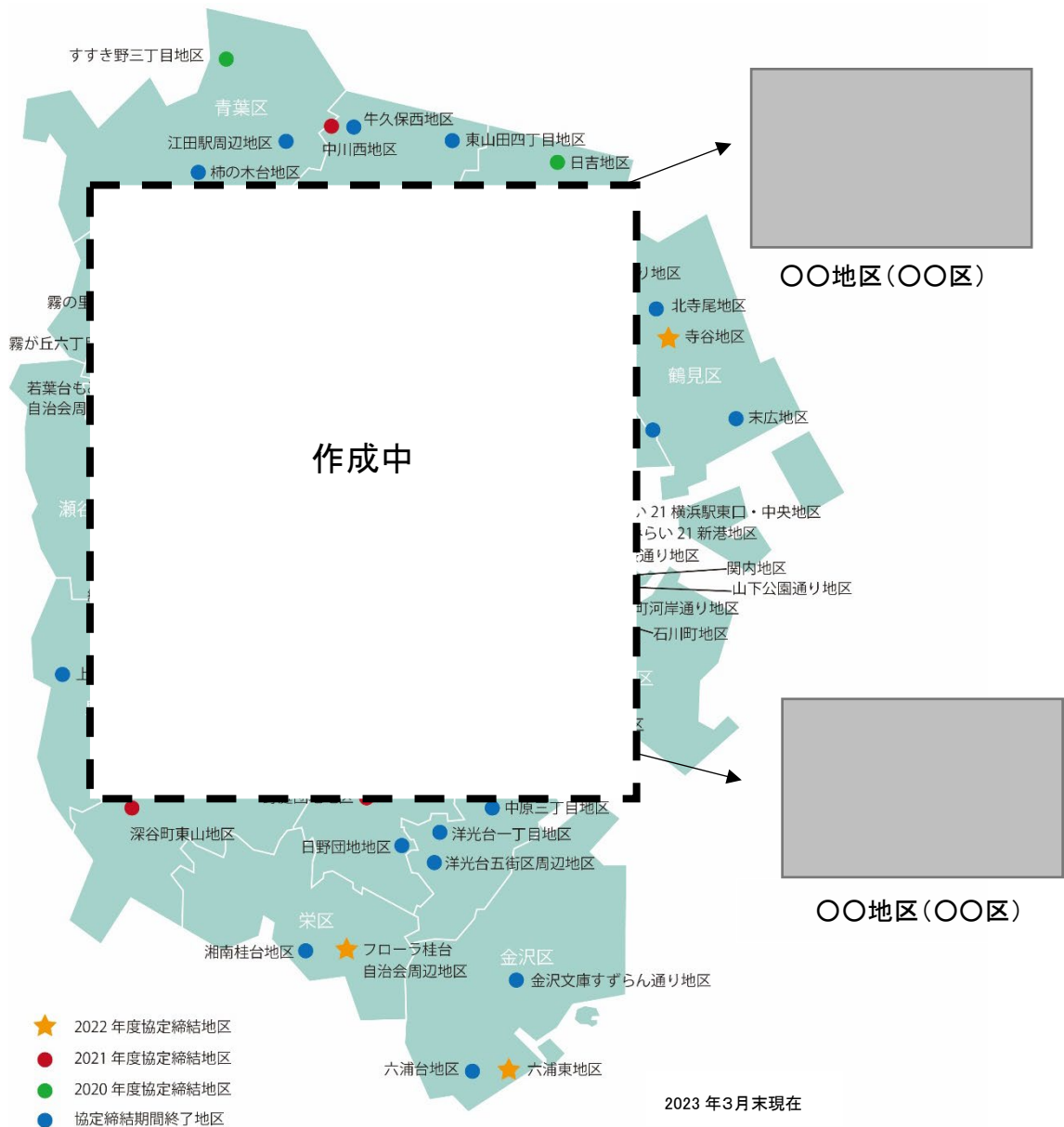
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

緑のまちづくりが進んでいます

市内各地で様々な緑をつくる自主的な活動が行われ、2009 年度から 2023 年度の 15 年間で市内 67 地区において、魅力ある緑のまちづくりが進んでいます。2023 年度は新たに〇地区で市と協定を締結、2024 年度から緑化に取り組めます。



<地域緑のまちづくり実施地区一覧>



※横浜みどりアップ計画の詳細な実績については、「5か年(2019 年度～2023 年度)の事業・取組の評価・検証」をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midoriup/jigyhoukou.html>

◆評価・提案の概要

「計画の柱1:市民とともに次世代につなぐ森を育む」については、〇〇。

「計画の柱2:市民が身近に農を感じる場をつくる」については、〇〇。

「計画の柱3:市民が実感できる緑や花をつくる」については、〇〇。

「効果的な広報の展開」については、「広報よこはま」や子ども向けの広報誌等への記事掲載など、幅広い世代にみどりアップ計画が伝わるような情報発信を継続するとともに、子ども向けの広報がより充実することを期待します。

また、電車やバス等の公共交通機関での情報発信の機会が増えています。引き続き、市民の目に触れる場所での情報発信を継続して、みどりアップ計画の様々なメニューがより多くの人に伝わり、活動の広がりにつながるよう、効果的な発信の仕方を検討してください。

情報を発信するとともに、取組を進める中で寄せられる声やみどりアップ計画の取組に関する市民向けのアンケートの結果を分析し、取組に反映してください。

(4) 効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

●事業概要(計画書から抜粋)

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者に理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、戦略的な広報を展開します。

●実績

目標	2023 年度実績	5か年実績
広報よこはま等の広報紙への記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・市版:2件(6月、11月号) ・神奈川新聞 市民の広場(4月19日) ・エコチル横浜版(10月号) ・こどもタウンニュース(11月号) ・かんきょう横浜(11月号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市版:のべ14件 ・区版:のべ31件 ・その他広報紙:のべ16件
実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明や回覧	<ul style="list-style-type: none"> ・市連会、区連会での実績報告(10月) ・実績リーフレット等の単位自治会・町内会長配布(10月) ・実績リーフレット等の区役所やPRボックスでの配架(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市連会、区連会での実績報告 ・町内会等での回覧 ・実績リーフレット等の単位自治会・町内会長配布 ・実績リーフレット等の区役所やPRボックスでの配架
メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜みどりアップ計画メールマガジン」の発行(毎月) ・X(旧 Twitter)の発信(横浜 GO GREEN @yokohama_kankyo で「#みんなのみどりアップ」を使用した投稿 のべ167回) ・市公式 LINE アカウントを活用した広報(リッチメッセージの投稿) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜みどりアップ計画メールマガジン」の発行 ・X(旧 Twitter)の発信(横浜 GO GREEN @yokohama_kankyo) ・市公式 LINE アカウントを活用した広報 ・イベント会場での X(旧 Twitter)フォローキャンペーンの実施

<p>広告、動画等の各種メディアを活用したPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通広告の動画放映 6件 (6～7月: JR 横浜線、市営地下鉄、市営バス車内デジタルサイネージ 10月: JR 桜木町駅 J/ADビジョン、市営地下鉄・相鉄線車内デジタルサイネージ) ・地域情報 web へのロゴ入り写真掲載 (横浜 LOVE Walker) ・公用車等でのマグネットシートによるPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市役所アトリウム及び横浜市役所デジタルサイネージ動画放映 ・18区役所で動画放映 ・交通広告の掲載(市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン・JR横浜線・市営バス3営業所、京浜急行電鉄、東急東横線、相鉄線、みなとみらい線) ・YouTube 動画配信 ・地域情報 web への記事掲載 ・市営バス・公用車等への PR 用ステッカー(マグネットシート)の貼付掲載 ・日産スタジアムへの PR 看板の掲出 ・横断幕の掲出(動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等)
<p>ホームページの充実</p>	<p>随時更新</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページの更新(実績報告書、計画関連動画の掲載等)
<p>緑に関するイベントでのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリングフェア(4月) ・春の里山ガーデンフェスタ(3～5月) ・こども夏まつり(8月) ・秋の里山ガーデンフェスタ(9～10月) ・新横浜パフォーマンス(10月) ・農と緑のふれあい祭り(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントブース出展: 21件
<p>取組に基づいて実施したことを示す現地表示(プレート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりアップ計画実施箇所への現地表示板の設置を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・約1,300枚の公園花壇への現地表示プレートの設置 ・みどりアップ計画実施箇所への現地表示板の設置を推進 ・工事看板への表示 ・市民・ふれあいの樹林の案内板へのPRロゴの掲示

※市民推進会議による広報企画としては、広報誌「Yokohama みどりアップ Action」第9号を発行(詳細は〇頁「③広報・見える化部会」参照)



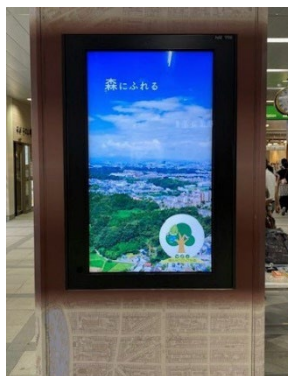
広報よこはまへの取組実績の記事掲載
(市版 11月号)



こどもタウンニュース
(令和5年 11月発行)



相鉄線車内デジタルサイネージでの
動画放映



JR 桜木町駅構内での
動画放映



X(旧 Twitter)での発信



秋の里山ガーデン(令和5年 10月)



農と緑のふれあい祭り(令和5年 11月)



取組実施箇所での現地表示看板



取組実施箇所での現地表示看板

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 市からの情報を得る手段としてすべての年代で高い支持を得ている「広報よこはま」や、子ども向けの広報紙などに、みどりアップ計画の取組について掲載し、広く市民の皆様へ情報発信を行いました。
- 取組実績をまとめたリーフレットを作成し、自治会・町内会へ説明、市ウェブページでの公表、各区の駅などに設置されているPRボックスへ配架を行い、市民の皆様へ報告しました。
- みどりアップ計画のPR動画を各区役所で継続的に放映したり、春、秋の緑に関するイベントの多い時期に交通広告として動画を放映したりするなど、みどりアップ計画の取組について市民の皆様目に触れる機会を増やしました。
- 環境創造局が運用している公式X(旧Twitter)アカウント「横浜 GO GREEN」を活用し、みどりアップ計画の取組について様々な話題を発信しました。また、市のLINEアカウントやInstagramなど、様々な媒体を使用して広くPRを行いました。
- 計画の取組やみどり税についての認知度が低い若年層をターゲットとし、子ども向けイベント等にも積極的に出展し、みどりアップの取組についてPRを行いました。イベントでは、ブースへ来訪された方から「横浜市でこのような取組をしていることを知らなかった」「横浜みどり税の使いみちを初めて知った」とお声がけいただくこともあり、引き続き、広く情報を発信する重要性を実感しています。
- 今後も広報媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を進めていきます。

◆施策についての評価・提案

- 多くの市民が行政からの情報を得る手段として利用している「広報よこはま」への記事掲載は、みどりアップ計画を伝えるうえで効果的です。引き続き、全市民のもとに届けられる「市版」と、より身近な情報を得られる「区版」の両方からの発信をするとともに、ほかの広報誌への掲載も推進することを期待します。
- 子ども向けの広報誌での記事掲載は、子どもだけでなく、親の世代がみどりアップ計画を知ることにもつながります。引き続き幅広い世代にみどりアップ計画が伝わるような情報発信を継続してください。また、子ども向けの広報などがより充実することを期待します。
- 様々な年代の方が利用する、電車やバス等の公共交通機関での広告掲載・動画の配信の機会が増えています。引き続き、市民の目に触れる場所での情報発信を継続してください。
- 実際に自分で活動し楽しむことは、緑のもたらす効果や意義を実感することにもつながります。みどりアップ計画の様々なメニューがより多くの人に伝わり、活動の広がりにつながるよう、効果的な発信の仕方を検討してください。
- 情報を発信するとともに、取組を進める中で寄せられる声やみどりアップ計画の取組に関する市民向けのアンケートの結果を分析し、取組に反映してください。

広報・見える化部会 部会長コメント

.....

高田 房枝



6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、緑について日ごろ各委員が感じたことについて、委員の皆さまからもコメントをいただきました。

委員ごとにコメントをいただきます。